



一般社団法人 愛媛県中小企業診断士協会 〒790-0003 松山市三番町 4-8-7 第5越智会計ビル1F
 発行人：会長 山本 久美 TEL：089-961-1640 URL：http://shindan-ehime.com
 編集：広報委員会 E-mail：shinai@shindan-ehime.com

目次

◆会長挨拶（山本久美）	1
◆受託事業の拡大について（多田稔）	2
◆農業経営者総合サポート事業・調査研究事業（濱田悠介・大西正志）	3
◆松山しごと創造センター運営事業業務委託（一ノ宮康嗣・濱田悠介）	4
◆愛媛大学での特別講義のレポート（西田元信）	5
◆入会ご挨拶（青野晃平）	6
◆入会ご挨拶（玉田建夫）	6
◆入会ご挨拶（白石秀一）	7
◆お知らせ（事務局）	8



会長挨拶

会長 山本 久美

■2020年度実施事業について

農業経営者総合サポート事業とその支援体制の検証をテーマとした調査・研究事業を実施し来期にも繋がる形となりました。

農業経営者総合サポート事業では先般、農業経営サポートセンターとの打ち合わせで、今後、具体的な支援体制を取ることを確認しました。一例を挙げると、人手確保が難しい中、農作業未経験者でも技術の取得が容易になるよう作業のマニュアル化、動画での見える化などの支援を考えています。

調査・研究事業では3月頭に報告書を提出し、シンポジウムでの発表に繋がるよう進めています。

現在、大洲市で実施している新型コロナ対策支援事業では、アフターコロナを見据えた伴奏型支援という従来の相談窓口から踏み込んだ形の支援を行っていますが、この形を西予市、宇和島市にも提案しています。提案の中では愛媛大学との連携で、大学の



研究成果や専門性を活かした新たなビジネス展開に繋げる支援体制の構築も企画しています。愛媛大学とも、具体的にどのような形で連携が可能か、打ち合わせを行いながら進めているところです。

他には、事業委員会にも主体的に動いていただきプロボノ活動支援に向けた実証実験事業などで成果を挙げてもらっております。

■オンラインの活用

コロナ禍の影響で東予方面への訪問活動など十分に実施できなかった事もありました。一方、スキルアップ研修のリモート参加対応など、オンラインの活用を積極的に進める契機となっています。来期の理論政策更新研修もリモート併用型で実施できないか検討を進めており、様々な場面でオンラインを活用することで中身の濃い事業ができることを期待しています。

先に挙げた愛媛大学との連携支援でも松山市だけでなく、宇和島市、西予市、新居浜市、西条市の各拠点からオンラインで繋がる形を取り、効果的な支援体制が構築できないか考えています。

■2021年度の展望

診断士の仕事の受け口となる接点が縮小する中、自分たちが独自に官との連携を提案し事業領域を広げていくことが求められています。耳を傾けてもらえる提案をするには一層高い専門性が必要となりますが、協会内で提案活動を担

える人材を育成できるようスキルアップの機会を設けていきます。

研修の充実に加えて、現在は私自身が中心となって関わっている県や各市町村といった自治体との関りにも参画してもらい、実践の場で経験を積めるようにしていきたいと考えています。

具体的な事業としては、愛媛県の事業系食品ロス削減課題検証事業の入札が予定されており、県に向けた企画提案資料作りを3月に予定しています。また、松山市の事業である松山しごと創造センターは新たにコロナ後の支援という形で企画提案をしており、2月に入札のプレゼンが実施されました。伊予鉄総合企画とのコンソーシアムを延長しつつ、中身を今までとは違う形にして作りこんでいくことを考えています。

■企業内診断士の方へ

働き方改革の一環で大手企業や銀行を中心に副業を解禁する動きが出てきています。多様な働き方を容認する企業が増える中で、企業内診断士の方も将来の独立に向けた準備として、あるいは本業・副業を両立させながら活動するなど選択肢が広がってきていると思います。

協会としても様々な事業や活動に企業内診断士の方に参加してもらいやすい体制を構築していきますので、ぜひ積極的にご参画ください。

地域のために診断士協会が主体となって協力できる活動を続けていきたいと考えております。



受託事業の拡大について

事業委員長 多田 稔

事業委員長に就任以来、独立診断士の事業機会拡大および企業内診断士の実務機会確保のため、関係諸団体への営業・教宣活動を行ってまいりました。以下、今年度これまで実施した事業を列挙いたします。(前年度からの継続分を含

む)

1. ものづくり補助金審査員
2. 農業経営者総合サポート事業



3. 松山しごと創造センター経営相談
4. 障がい者工賃向上支援事業
5. 松山市役所コロナ対策経営相談
6. 西条商工会議所事業計画書作成支援事業
7. プロボノ活動実証実験事業
8. 東温市商工会事業計画書作成支援事業
9. 大洲市役所コロナ対策経営相談

これらのうち、今年度からの新規事業である西条商工会議所の事業計画書作成支援事業、および中小企業診断協会のプロボノ活動実証実験事業について概要をお伝えします。

・事業計画書作成支援事業（西条商工会議所）

西条商工会議所の発達支援計画の一環として、小規模事業者の事業計画作成を支援するセミナーと個社支援を一括して受託しました。令和2年10月から、セミナー4回、個社支援をのべ48回対応しました。対応した診断士は6名で、15社の事業計画作成を支援しました。

折しも、コロナ禍の影響で融資・補助金申請など事業計画の作成を求められる場面が増えたこともあり、非常にタイムリーな支援になりました。事業者からは、「この支援がなければ補助金申請まで到達できなかった」「自社の状況を客観的に見ることができた」といった高評価をいただいています。

・プロボノ活動実証実験事業（中小企業診断協会）

プロボノ活動とは、高度な知識を持つ専門家が自らの知識や経験を活かして、コンサルティング活動などの社会貢献を行うボランティア活動のことです。中小企業診断協会では、企業内診断士のコンサルティング機会の拡大および資質向上を目的として、平成30年から都道府県協会が行うプロボノ活動支援を補助する制度を設けました。

今般、愛媛県協会もこの事業に応募し採択されたことから、企業内診断士2名と事業委員長の多田が診断チームを組み、しまなみ商工会の会員企業（建設業）に対して経営診断を行いました。企業内診断士にとっては、コンサルティング経験の蓄積と実務ポイントの獲得ができ、独立診断士にとっては新たな収益機会の創出になったと考えています。

■今後の事業

これから来年度にかけては、愛媛大学との連携講義、農業経営調査事業、愛媛県事業系食品ロス削減課題検証事業など、まだまだ診断士が活躍する事業が目白押しです。加えて、コロナ禍に端を発した補助金・助成金等が年度末から公募開始になることが予想され、その関連で新たな事業獲得も見込まれます。

支援の現場を回っていると、このような危機の時代だからこそ中小企業診断士が役立つのだと肌で感じるができます。多くの診断士の仲間に、この気持ちを味わっていただくため、事業委員会はこれからも事業獲得に努力してまいります。



農業経営者総合サポート事業・調査研究事業

■事業概要（濱田 悠介）

公益財団法人えひめ農業経営サポートセンターが事業主体となり、農業事業者の経営課題に対する助言・指導を実施

する事業です。経営課題は栽培技術の指導、販路開拓、法人化に向けた法務・税務など多岐に渡り、土業を始め様々な専門家が登録して支援にあたっています。

従来は農業事業者からの相談を起点に、内容に応じた専門家を派遣してアドバイスを行っていましたが、2020年度からはサポートセンター側からも積極的に重点支援対象者に声をかけ、診断士が訪問して経営状況を相談カルテにまとめる活動を行っています。ヒアリングにより見つかった課題から具体的な支援や経営診断の実施に繋がっています。

調査・研究事業では、相談報告データや個別事例の分析をもとに今後の農業事業者への支援のあり方についてまとめました。この調査報告書は県やサポートセンターとも共有し、具体的な支援体制の改善に繋がっていく予定です。

■参加者コメント (大西 正志)

事業を通じて様々な農業事業者と関わっているが、中には自分たちが育った

集落の景観や伝統・文化を復活していきたいという農業後継者も出てきている。

世の中は異常気象、格差拡大、いじめ、ひきこもり、食品ロス、そしてコロナ禍の三密からくる息苦しさやストレスなどで、様々な社会問題が顕在化しているが、混乱した社会の中でも、そうした農業後継者の活動は、自然とうまく付き合う方法を示し、人間関係のストレスで疲れている人たちの癒しとなり、引きこもりや不登校の子供たちの居場所も作れるのではないかと可能性を感じている。

こうした農業後継者を応援することは、社会の問題解決に少しでも役に立つのではないかと思っている。



松山しごと創造センター運営 事業業務委託

所長 一ノ宮 康嗣

■事業概要

本事業は松山市が策定する第6次総合計画(後期基本計画)に掲げられた「暮らしを支える地域経済を活性化する」という目標の実現を目指す事業で、伊予鉄総合企画と診断士協会がコンソーシアムを組んで事業に取り組んでいます。

事業内容としては、中小企業経営者、個人事業主、創業予定者を対象とした個別相談窓口と創業・経営関連のセミナー、また創業予定者、创业者の交流を図る「まつやま創業者クラブ」の開催等を行っています。

今年度で3年の事業期間が終了となり、それに伴い、新たな事業に繋げるため企画提案書を作成し2月中旬に市へのプレゼンを実施しました。この企画提案では新たに新型コロナウイルス対応として伴走型で支援を行うことを中核に据えています。具体的には利用者のデ

ータ管理の一元化により複数の支援員・相談員が連携して支援を行ったり、事業者の現状(創業準備開始、開業間近、開業後まもなく等)別や業種別での小規模勉強会を開いたりすることを企画しています。

事業の採択を受けた後、相談員の募集を行いますので、興味がある方は積極的にご参画ください。

■参加者コメント (濱田 悠介)

月に1回の窓口相談業務を担当しています。また、創業スクールも含めて計5回のセミナー講師も務めました。相談者は個人事業主や創業



予定者が中心で、年齢や性別はもちろん、考え方や人生経験も様々で、企業内での関わりとは違う人との接点を持つことが魅力の1つです。

限られた相談時間の中で全てを解決

することは難しいかもしれませんが、相談者の悩みや迷いをできるだけ解消して、次のアクションが明確になったとき見せる晴れやかな笑顔には喜びもひとしおです。



愛媛大学での特別講義のレポート

西田 元信

2019年9月から、愛媛大学と愛媛県中小企業診断士協会との連携講義がスタートしました。講義名は、中小企業診断士試験第2次試験対応特別講義です。

■経緯と内容

2019年9月24日・25日の2日間、両日とも1時限目～4時限目、第1回～第8回に分けて開講しました。受講とレポート提出を終えた学生13名へ、当協会会長名で「修了証」を手渡しました。

2020年度の講義は、コロナ禍のため担当講師が直接講義できず、遠隔授業（テキストにより基礎知識を習得し、ケーススタディ、課題の提出で単位認定）での開催になりましたが、正式に単位取得できる講義となったことは、当協会にとって大きな財産だと思います。

講義の内容は第2次試験の事例Ⅰ～Ⅳを想定して「組織運営」「マーケティング」「生産管理」「企業財務」に加え「食品マネジメントシステム」「中小企業施

策」を取り上げ、それぞれ座学後に2次試験さながらのケーススタディを解く流れになっています。



■今後について

2021年度は、学生さんとFace To Faceで講義ができるようになることを願っています。これからの日本を、世界を、地球を支えていく若者達の学びに、貢献できる講義をしたいと思います。私にとって、若い学生さんと接し、そのパワーと感性に触れることは、非日常で刺激のある時間になるので楽しみです。

今後、愛媛大学との連携の中でリカレント教育での第1次試験対応講座なども構想され、講義のチャンスは増えると思います。企業内の診断士さんも含めて、みなさん、講義にチャレンジされてはいかがでしょうか。



企業財務の講義風景



マーケティングの講義風景



入会ご挨拶

青野 晃平

みなさま、はじめまして。

昨年5月に診断士登録、9月に入会しました青野晃平と申します。

1988年生まれの32歳。新居浜市の一宮運輸株式会社に勤めている企業内診断士です。

【現在の仕事】

現在勤めている企業で約9年間社内SEとして「自社システムの構築や運用保守」「ヘルプデスクとしての問い合わせ対応」「情報機器の管理」など情報システムに関する多くの業務に携わってきました。現在は経営企画部として中期経営計画の策定やプロジェクトの推進業務をおこなっています。

【プライベート】

妻と5歳になる娘の3人家族です。2年ほど前からキャンプにはまっていて、時間を見つけてはキャンプに出掛けています。また、昨年末より犬を飼い始めました。仔犬のためまだ外には出られないのですが、成長して一緒にキャンプに行ける日を楽しみにしています。

【中小企業診断士を取得した経緯】

社内SEとしてシステム構築を進める中で、経営の視点が必要と感じたからです。

システムを構築するためには経営者、管理者、現場担当者などそれぞれの立場によって求めるものが違います。それぞれの考えを理解して整理することが自分の役割であり、中小企業診断士を目指すことで経営の視点を身につけてより良い提案ができると考えました。

【今後について】

試験に合格した直後は特に今後については考えていませんでしたが、試験合格後に受講した実務補習の中で診断先企業の経営者や仲間とともに課題を解決していくことに「やりがい」と「楽しさ」を感じました。今後も積極的に活動に取り組み社会に貢献していきたいと思っています。



入会ご挨拶

玉田 建夫

令和2年9月に入会させていただきました玉田建夫と申します。3月末に愛媛県庁を定年退職し、現在は松山商工会議所に勤務しております。

県に在職中の昭和62年10月から中小企業大学校東京校の診断士養成課程商業1年コースに派遣され、平成元年4月に登録となりました。受講生は約90名で、1/3が地方公共団体、1/3が金融機関、残りが商工会議所等の団体からの派遣者で、出身地も全国津々浦々でした。

当時、公務員は所属の推薦があれば入

校できましたが、金融機関等の出身者は、内部の選抜試験と大学校の入校試験を経て入校を勝ち取った猛者揃い。物見遊山気分の公務員組は、座学と実習で力量の違いを見せつけられ、愕然としたものです。付いていくのは大変でしたが、実習で長野県や沖縄県に行き、班作業を通じて相互交流を深め、診断技法を修得できたのは大きな収穫で、良い思い出と



なっています。

診断業務に4年半従事した後、県立病院課で6年間、県立病院の経営改善計画策定に携わり、土木部勤務を経て、東京都港区南麻布の自治大学校に派遣となりました。地方公共団体の職員を対象とする国の研修機関で、地方自治法や行政法、地方行政施策等を学ぶところです。派遣候補者として名前を貸すだけという条件で希望したのですが、本当に派遣されるとは夢にも思わず、加えて法律が苦手でしたから、付いていくのに苦労いたしました。ちなみに全国47都道府県の職員で中小企業大学校と自治大学校の両方に派遣されたのは、私と三重県の職員の方2人だけと聞いています。

自治大派遣から2年後の平成15年度、監査事務局への出向を命ぜられます。監査業務は、人の仕事の揚げ足取りなどと揶揄され、友達をなくすぞとまで言われましたが、職場の雰囲気非常に良く、経営診断に相通ずる点があり、通算7年間、監査事務局に在籍、監査実務の経

験を活用し、社会福祉法人の監査や森林組合の検査にも従事いたしました。

診断士資格の取得が後の職歴を決めたといっても過言ではないのですが、実は平成20年度に休眠手続を執っており、診断実務従事日数の確保の難しさから、資格放棄を考えた時期があります。

しかしながら、会議所の専務理事から「必ず資格を復活するように」との激励をいただき、また、協会事務局の山本様の適切なお助言により、復活の可能性が残されていると知り、協会で企画されていた診断実務研修への申込みと併せて協会への入会を願い出た次第です。

今年度の診断実務従事研修では、前会長の上田保先生に熱心なお指導をいただくとともに、優秀な加地さんと青野さんのお二人には私の力量不足を十二分に補っていただき、あらためて厚く御礼を申し上げます。併せて、診断士協会所属の諸先輩方におかれては、今後のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



入会ご挨拶

白石 秀一

はじめまして、令和2年11月に入会させていただきました、企業内診断士の白石秀一と申します。

現在は、地方公務員として総務部に所属し、職員の採用・配置・育成や給与の支払い、労務管理等の業務を行い、職員が働きやすい環境作りに取り組んでいます。最近、新型コロナウイルス感染症の対策に向けた人的資源の確保等に日々奔走しています。

私が中小企業診断士を目指した理由は、知り合いからの勧めでした。ちょうど社会保険労務士試験に4回目の受験で合格し、今後について話をしていた時に、「人に関する資格を取得したのなら、次は、企業に関する資格の勉強をしてみ

たら」という一言をもらったのがきっかけでした。職業柄、職場外の方と出会う機会や、幅広い知識や経験を得る機会の少ない自分にとっては、有り難いアドバイスだったと思います。



それから独学で勉強を始めましたが、知識の無い私にとっては苦難の連続でした。しかしながら、周囲の方の的確な助言や人生すべての運を使い果たすことにより、何とか合格することが出来ました。合格通知が手元に届いた時の高揚感と達成感は今でも忘れることが出来

ません。

実務補習は、広島と大阪で受講しましたが、様々な職種の刺激的な仲間との出会いや素晴らしい先生方に教えていただいたことで、自分の力不足や考え方の甘さにあらためて気づかされるとともに、人とのつながりの大切さを実感することが出来ました。また、企業を訪問し、経営者から苦労話や将来の夢を直接聞く経験を得たことで、この仕事の面白さの一端を肌で感じ、今度は愛媛の中小企業のお役に立てるよう、さらに自分を高めていかなければと意を強くすることが出来ました。

協会入会後は研修会や協会を通して

の活動に参加させていただくことで、諸先輩方をはじめ、関係団体の方々や創業を目指す方とお話する機会に恵まれ、診断士として充実した日々を過ごしています。

最後に、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、厳しい社会・経済情勢がまだまだ続くことが見込まれ、中小企業診断士に求められる役割はさらに大きくなると思います。今後も、協会の活動に積極的に参加し、様々な方との出会いを大切にしながら、経営者に寄り添った診断士になれるよう努力していきたいと考えていますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお祈いします。

令和2年度 愛媛県協会入会者数 (令和3年3月1日現在)

新入会員：正会員6人 準会員3人 (内訳：企業内診断士9人)

ご寄稿いただいた3名に加え、中木戸 康博さん、高野 祐介さん、岡本 悠己さん、高木 佑典さん、溝淵 博志さん、松下 武司さん、の6名が今年度、新たに入会されました。

しんあいでの紹介は次号以降となりますが、既にスキルアップ研修などの活動に参加されている方もいらっしゃいますので、積極的に交流していければ嬉しいです。

新入会員の皆様、どうぞよろしくお祈いします！ (広報委員 炭谷、濱田)



お知らせ

■令和3年度 (前半) の行事予定

日 程	行 事 内 容
5月14日 (金)	理事会 第5越智会計ビル
6月17日 (木)	定時総会 東京第一ホテル松山
8月28日 (土)	理論政策更新研修 リジェール松山

■スキルアップ研修予定

日 程	テーマ (予定)
4月13日 (火)	RESAS 地域経済分析システムの活用
5月11日 (火)	論文テーマの決め方
6月8日 (火)	農業経営サポート支援事業

会場：松山市男女共同参画推進センター 会議室3

スキルアップ研修では、Zoomによるリモート参加が可能になっています。距離や時間の都合で参加の難しかった方もぜひ参加をご検討ください。

